

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスセンター「いちご園」			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 2 月 5 日		～	令和 7 年 2 月 22 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 31 日		～	令和 7 年 2 月 5 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9 名	(回答者数)	9 名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 7 日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な広さと構造化された環境がある	パーティション等を等使用し場を区切ったり、情緒の安定を図るために刺激の少ない部屋を活用している	共生型施設として生活介護センターとの協力体制を明確化する。 物の置き場所に視覚提示をする等、誰でも分かりやすく過ごしやすい環境作り
2	褒める環境作り、自己選択できる工夫、肯定的な言葉がけができています	いちご園が目指す支援として掲げているため、職員全員が意識を持って取り組んでいる	トライ・アンド・エラーを繰り返しながらより良い支援を目指す
3	子どもの状況を保護者と伝え合い、共通理解が図れている	連絡帳活用。ご家族に配慮した伝え方や書き方を工夫している。また、気になることは伝え合える関係性を築けるように普段からのやり取りを大切にしている	連絡帳に時間がかかってしまう現状もある。システムの導入・活用や連絡帳のフォーマットの工夫が必要

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童館や児童クラブ、地域の子供達と交流する機会がない	保護者や利用者のニーズの把握が必要	いちご園まつりが復活したので、近所にも周知し、交流を図る
2	保護者同士の交流の場が少ない	交流会や見学会など企画しているが、回数が少ない。また、ご家族の就労や日々の生活の負担とならないか	矢巾町親の会「ひまわりのたね」の開催場所がいちご園になったので、ブログや公式ライン・お便り等で保護者へ周知を図るとともに積極的な関わりを持つ
3	安全確保や対応のマニュアルの周知ができていない 施設内の衛生管理等、共生型施設としての事業所間の体制が不十分である	コロナ禍以降、明確なマニュアル作成ができていない 生活介護センター職員との共通認識が持てていない	マニュアルを作成し、HPや書面にて周知を図る 両事業所の職員間で会議の場を設ける 共生型施設としての意識を持って対応していく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスセンター「いちご園」
------	----------------------

公表日 令和 7 年 3 月 31 日

利用児童数 令和 7 年 3 月 31 日 現在 35 名

回収数 28

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	28					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	27			1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27				1	○子どもたちにとって分かりやすく構造化され、バリアフリーも整っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	27	1			○中まで入ったことが1~2度しかない ○子どもたちが気持ちよく過ごせるようになっています。	○親子行事や親の会を開催した際に、施設案内も合わせて行ってみる。 ○モニタリングで来所された際に施設内をご案内する。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	27	1			○子どもの気持ちを理解してくれています	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	25			3	○※2の説明文を読みましたが、もう少し分かりやすい文章にしてほしい	○アンケート配布時に、ご不明点は職員までどうぞと声をかける
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28				○細かいところまで目をかけていただいていると思います。ありがとうございます。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27				1	○計画に基づき、子どもたちへの支援や親・家族等への支援もできていると思います。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	27				1	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27				1	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	3	4	10	○健常のお子さんとの交流はうちの子には難しいため、そのような機会は無くていいです。	○いちご園まつりの開催で、地域の子ども達と交流できる場を作っていく。その際は、自由参加とし、様々なニーズにお応えできるようにする。
保護者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27				1	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	1				
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	28					○子どもの状況を伝え合っていると思います。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					

こ へ の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	2	1	5	○特になくていいです。	○親の会開催日を4月に年間でスケジュール化して提示し、周知を図る。その際は自由参加とし、様々なニーズにお応えできるようにする。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	28				○子どもたちや親からの相談にきちんと対応してくれます。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	26			2	○子どもたちの活動や行事予定など、HPなどで発信してくれています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	27			1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	3		2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	26			2	○災害に備えて避難訓練をしてくれています。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28				○事故等があったときには、すぐに対応してくれます。	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	27	1				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	23	3	1	1	○「いちご行く」と通所をいつも楽しみにしています。こどもが安心して過ごせる居場所となっています。 ○毎日楽しみにしています。	○引き続き、安心して過ごすことができる居場所作りを継続して行っていく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	27			1	○小・中・高と利用する子どもたちもいろいろだと思いますが、それぞれに工夫をされて個々を尊重しつつ集団での遊び等も考え、環境を整えてくださっていると思います。 ○日頃安心して利用できるデイです。連絡帳で様子がよく分かるので、学校とも情報共有でき大変助かっています。先生方が日頃勉強されていて、子どもに対して工夫してくださり、親も安心してます。 ○毎回大満足で帰って来ます。ありがとうございます。 ○送迎の忙しい時でも話を聞いて頂き、園や学校での様子もお話してくれて、とても気持ちが穏やかなる時間を持っています。 ○子どもたちが通所を楽しみに学校へ通学している感があり、保護者も安心してお願いしています。 ○長期休み等の1日もとても充実していて楽しそうです。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスセンター「いちご園」				公表日	令和 7 年 3 月 31 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ○パーティションを数多く準備することで空間を分けやすくしている。 ○十分な広さが確保されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相談室を利用したり、パーティションで区切ったりしているが、高学年の子が増えて、部屋が狭くなっている。 ○生活介護のスペースとの兼ね合いがあり、議論が必要。今の所時間で制限をかけたか、お互い配慮したりしてるが、明確な決まり事がないので困ることもある。 ○スペースが適正かどうか分からない。 	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○個別対応が必要な児童にも対応出来ている。 ○基本的に適切である。 ○感染症の流行などで利用人数が読めない時期もあるため、調整が難しい中でもうまくやりくりできていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○送迎時に職員が残れない事がある。 ○急な職員のお休みにより、適切でない時もある。 ○平日は送迎の出入りや連絡帳記入で支援に時間を割けない時がある。 ○療育に特化した資格等を持つ職員にはそれに集中できる時間の配慮が必要だし、これからはそのような専門的な支援も求められるのではないかと感じる。 	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○体を動かす、静かに過ごす、決められている。 ○現段階では概ね適切である。 ○パーティションの利用や、場所ごとにやる事を決めたりと構造化はできていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○トイレの数が足りないと感じる。 ○児童が片付けしやすい、身に付きやすい環境設定だと良い。 ○生活介護との共生型施設ということもあり、利用者の人数や（車いす等）障がい特性を考慮すると、トイレや手洗い場が狭いと感じる。 ○利用児が声掛けなしでも自ら動ける視覚支援などの工夫や、スヌーズレンなどの刺激に弱い利用児にとっての癒しの空間などがあるとさらに施設としてよくなるのではと感じる。 ○ホールから勉強の部屋への導線の見通しが悪い ○情報伝達についてはアップデートしていく必要があるだろう。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ○静と動の遊び場に分けられ、好きな遊びに取り組める場所の確保も出ている。 ○活発に活動する場所と静かに過ごす場所が両方あり、理想的だと思う。利用児にもここは〇〇の部屋ときちんと周知されている事も良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○トイレの汚れは都度必要なので使い捨てウェット布巾がほしい。 ○遊び道具が保管されている倉庫内が整理整頓されていない。物の置き場が決まっていないので、子供達も片付けられない。 ○清潔に関しては、カーベットの汚れが気になる。業者を入れずにできる方法があれば試したい。 ○蛍光灯がむき出しである。また、トイレの履物にルールがないので、生活介護センターとの共通認識が必要である。 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ○相談室や勉強の部屋を活用できている。又、今回大きめのパーティションを購入したので、場面や利用児に合わせて個室が作れるようになった。 ○情緒が不安定な時や1人の活動が適切と思われる時には、相応しい場所がいくつか選べるし、利用児本人にもそれを伝えて自ら動けるように手助けできていると思う。 ○共通の部屋が個別の部屋になっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて、相談室の利用はできるが、常時使えるとは限らない。 	

業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	<p>○毎日集まり、話をしている。</p> <p>○自分の考えを発言できる場、コミュニケーションが常に取りやすい職場である</p> <p>○毎日昼礼を行い、その日出勤の職員で子供たちの様子を確認している。また、日によって、小さな目標を立て、実行してみ、その日のうちや、次の昼礼時に振り返りを行っている。</p> <p>○日常の申し送りと同じ問題点を何度も試行錯誤して適切な支援に繋がっている。</p>	<p>○せっかくなかった支援がたくさんあるので、それをデータ化できると今後役立つのではと思う。</p> <p>○意見を述べる人、述べない人がいつも一緒なので、誰でも意見を言い合える環境づくり、普段からの会話やコミュニケーションを増やしていくことが課題。その時間を作るためには普段の事務作業軽減や、職員の負担軽減も必要。</p>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3	<p>○今年度のアンケートは、昨年度のアンケート結果を踏まえてGoogleフォームを活用することによる改善に向けて動いている点がある。</p> <p>○定期的に保護者の声を聞いているし、普段のやり取りでも職員が連絡帳や送迎時適切に聞き取りできていると思う。今までは紙の調査だったが、このようなフォームを利用する事で、さらに真に迫った意見が聞けるのではと期待している。</p>	<p>○毎年、把握はしているが、全職員への周知にまでは至っていない。また、保護者の評価の低い項目に関しては、物理的に難しいものもあり、全てにおいて改善している、対応しているとは言えない。</p>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	3	<p>○普段の申し送りや、職員会議、そのほか様々な場面で話し合いができています。以前行われていた他事業所（第2、第3）との意見交換は継続して行われるのがいいと思う。</p>	<p>○発言力のある職員や声の大きい職員の意見が通り、意見の交流がしやすい。</p> <p>○職員間では意見を言い合える時間があったり、言い合える環境が整っているが、パート職員に関しては、職員会議等でしか機会が無いので、あまり意見を言っていないと思う。</p>
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		<p>○第三者による外部評価をどのように行っているのか、分からない</p> <p>○あまり内容を確認していないので、よくわからない。</p>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	1	<p>○研修を受けることに会社自体が積極的・協力的である。また個人で受けた研修も職員間で共有している。</p> <p>○県や国主催の研修の受講、社内研修の実施をしている。</p>	<p>○職員の参加は多いがパート職員まで集まるのは難しい。実践に役立つ内容であれば参加率が上がるのではないかと。</p> <p>○個人によって意欲や問題意識に差があるため、事業所としての程度のスキルや知識を持って欲しいのか明確な基準が欲しいところではある。</p> <p>○研修を放デイは放デイ向きのものに変更して欲しい。</p>
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	3	<p>○3月までに公表予定。</p>	<p>○まだ公表に至っていない。</p> <p>○明確なプログラムと言えるものはないので、その時その利用時に必要な目標や支援を日々の職員間のやり取りで共通意識を持ってきているため、それを何かシートなりにまとめる必要はあるのかもわからない。</p>
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	<p>○具体的な目標、保護者目線のニーズなどの確に把握できていると思う。やりとりが難しい保護者においても根気よく聞き取りをしたり、時間や場所などの工夫も見られる。他事業所の計画も参考にできるなら見てみたいという気持ちもある。</p>	<p>○いちご園としての見立てや思い、必要だと思われる支援をもう少し組み込んでほしいと思う</p>

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ○職員会議等で周知している。 ○児童を色々な職員の角度で観察し、記録に残している。またその行動について話し合う場を設けている。 ○相談員の他にモニタリングには現場の職員も参加して一緒に保護者の気持ちや要望を聞き取りしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○作成段階においては基本的に児童発達支援管理責任者のみが検討していて、共通理解はあまりなっていない。 ○課題等の周知が常態化していない。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	6	<ul style="list-style-type: none"> ○職員会議などで支援内容について計画な内容に沿ったものを意見を交わしながらすり合わせてできていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計画を把握できていない。共有はされていると思うが意識するとまで行っていない。 ○職員（パート職員含む）全員への周知になっていない可能性もあり、一人ひとりの意識（個別支援計画書を見て確認する等）、知ろうとする気持ちが大切だと思う。 ○計画に沿って、という意識が統一できていない。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ○年に一度、アセスメント用紙に記入してもらう他に、保護者とのやり取りの中で分かることや利用児の行動について振り返り、みんなで確認する時間を設けている。 ○標準化されたものはないが、行動観察は日々行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○記録はとっているが文章化のみのため、フォーマルな記録で行動観察や分析を行う必要があるだろう。 ○利用できるシートや決まったツールがあるわけではないので、これから吟味して作っていく必要があると感じる。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○この部分に関しては、これからのことだと思うので、今まで獲得してきた経験を活かして各項目を明記していく必要があると思う。特に移行支援はいちご園ができて小学生だった利用児が就労に移行する時期に入ってきたため、就労、その後の余暇を含めた生活の場も踏まえての支援になっていくため、新しい知識の獲得や情報の共有が課題であると感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域支援、地域連携について、連携の難しさを感じる学校や機関もあり、計画に載せても、実際は連携に至らないケースもある。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○全員で意見を出し合うというよりは、担当者が立案者となり、実行し、皆で検証してまた次に生かしている職員で担当を決めて行っていて、誰か1人の負担にならないように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○大きなイベントなどの際には担当者の負担が大きくなる傾向にあるため、リーダーを内容で分けるなど工夫が必要ではないかと思う。 ○ほぼ正職のみのチームで行っている
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○マンネリ化しないように意見を出し合っている。 ○発達特性上、固定化の方が安定する児童が多い。長期休みの行事については、固定化しているものもあるが、新しい活動も取り入れている。 ○各職員新しいアイデアを持ち寄って利用児の目標に合ったものを提示できていると思う。 ○正職が個々に責任をもって担当した活動を立案実行している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○利用児が好きで意欲の高いものは変えずに行う事も情緒の安定や参加のしやすさにつながると思う。 	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○1日の中に個別と集団のスケジュールが組まれているので、条件は満たされていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○平日の短い時間の中では、やる事が限られているため、各利用児に必要な細かいニーズに寄り添うのは難しいと感じている。 ○長期休みなどに取り組む事もあがる、休む児童もいて、親のニーズとの兼ね合いも加味して専門的な事は専門家に任せるのも必要なのではないかと思う。 	

20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日打ち合わせをしている。 ○必ずミーティングは行なっているし、各利用児の現状を把握できるよう説明を受けている。 	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ○支援終了後、時間があれば、振り返りができる。振り返りは翌日以降になることもある。 ○敢えて時間は設けていないが、個人記録記入の際気になったことは発信したり、記入している。 ○特別時間をとっているわけではないが、記録の記入時など、みていない利用時の状況などをどうだったか話し合う時間となっている。 ○時間の関係で正職だけで振り返り、後日パートにも伝達している。 	○職員の業務が多いためやり取りの時間が少ないのが課題とは感じている。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○情報を、共有出来るように書き込むように心掛けている。 ○行動や情緒面など必要なところを書くようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○モニタリングの際の参考にしている。子どもが何をしたかだけでなくどのような支援や声かけを行ったか、また、その結果どうだったのかをもう少し詳しく記入した方がいいのではないか。 ○内容が薄い、書き漏れ、後で見直して意味不明は改善点。 ○行なった回数、時間などの把握が難しく困ることもあるため、複数人での擦り合わせが必要な時も。わかりやすいシートなどを活用できれば改善できるかと思う。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	○モニタリング、計画も適宜行えていると思う。	
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	6	3		<ul style="list-style-type: none"> ○わからないので年度始めに話を聞きたい。 ○知識不足のため勉強する。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○いちご園の目指す支援の1つであり、職員も強く意識して行っている。 ○選択が難しい利用児には具体的なものを提示して、少ない選択肢から選ばせている。そして、できた際には褒めることで次の意欲はつなげるようにしている。意思表示の方法も具体的な言い方を教えている。 	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の協議会や研修などにも積極的に参加して、連携を大事にしていると感じる。 ○関係機関により関係密度は違うが、緊急性が高い時は連絡できる体制にある。 	○福祉サイドとしてはもっと連携を図っていきたいと思っている。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	2	○学校や教員にもよる。最善を尽くしていると思う。	○できている学校と、できていない学校がある。そもそも学校によっては放課後等デイサービスとは何かを理解されていない、外部の人間と認識されている場合もある。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどが同法人の児童発達支援事業所から上がった子が多いので情報共有できている。 ○必要に応じ情報共有できていると思う。 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ○必要あればしていると思う ○まだその年齢に達していないため、これからやってくるのーつだと思う。 ○必要に応じ情報提供できる 	○今まで、そういったケースが無かった
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ○紫波矢巾の児発センターがまだなので、機関相談などに繋げている。 ○必要に応じ情報提供できる 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	<ul style="list-style-type: none"> ○地域に開かせた事業所を目指す必要があるだろう。 ○秋祭りや、地域の公園等積極的に交流できる環境を整えている 	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍以降、交流できていない ○以前はできていたが、これからやっていく必要があると思う。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	8	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○連絡帳活用を活用している。 ○保護者に配慮した伝え方や連絡帳の書き方など、工夫が見られる。 	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○事業所見学や親の会など時間がない中でも開催している。ペアトレに関しては研修を受けた方がたくさんいるので、ぜひやって欲しい。 	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1		<ul style="list-style-type: none"> ○機会を持っているかわからない ○運営規程や利用者負担等については契約の際に管理者が行っているが、支援プログラムについては、これからしっかり説明と周知を図っていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどが保護者の希望となっている。言語化できる児童や中学部・高等部の児童に関しては、本人の希望を聞いてもいいと思う。 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○どの職員も助言や相談対応ができるスキルを持っていると思う。 ○保護者の訴えなどを邪険にせず、解決に導けるよう支援会議をしたり、各関係機関と連携して支援できていると思う。 	○中には問題があっても訴えてこない保護者やそのすべを持たない支援の必要な親もいるため、そのフォローに追われ内容に第一機関などに頼る仕組みも必要かもしれない。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ○年に1、2回あるかないか。 ○昨年度、懇談会を行った。今年度も行う予定。 ○ひまわりのたね」という親の会に支援している。きょうだい児支援は難しい側面があり、ニーズの深掘りが必要かと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○法人全体の親の会はあるが参加人数は少なく、保護者交流の場にはなっていない。 ○兄弟同士は聞いたことは無い。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○迅速な対応ができていていると感じる。 ○児童からの訴えにはすぐに耳を傾けている。 	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○園だよりの発行やブログの更新をしている。 ○公式のLINEアカウントやホームページ等、今年度は活用できたと思う。 ○公式のLINEの活用やお便りの活用など、そのご家庭に合ったものでお伝えできていると思う。 	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○なるべく口頭のみならず、連絡帳を使って文字に残すようにしている。 ○わかりやすい言葉を選んだり、見てわかりやすい連絡の仕方を工夫していると思う。 ○利用児個々にあった伝え方、親御さんに伝わりやすい話し方は意識している。 	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年コロナ禍以降初めての「いちご園まつり」を開催して、盛況に終わった。 ○5年ぶりに法人でお祭りを開催し、周知させていただいた。 	
非常時	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ○避難訓練を行なっている。 ○作成はしている。今後周知されと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○マニュアルはあると思うが家族に周知していない ○ご家族への周知が徹底されていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○近くの公民館まで避難している。 ○避難訓練のみ行っている。 ○各種避難訓練を行い、全員を参加させる努力をしている。 	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○薬の情報の共有やてんかんのある児童の体調観察など心がけている。 	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急時の薬や使用方法、アレルギーの種類など、定期的に確認している。 	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		<ul style="list-style-type: none"> ○まだ完全な周知に至っていない。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	4	<ul style="list-style-type: none"> ○来年からはやっていく予定（HP） 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族へ周知の部分ができている

時 等 の 対 応	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ○普段から申し送りなどでやり取りできていると思う。 ○案件は用紙に記入し、全員目を通し捺印している。 ○記録を残し、職員全体で周知している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的に作成が少ない。口頭では話をするが文章におとしこむ事が習慣化していない。 ○個人差でヒヤリ感が違う為、全体での振り返り・話し合いが必要。 ○事例は少ないが、現場でヒヤリハットは起きていると思われる。大きな事故に繋がらないように、リスクマネジメントの意味でも、もう少し事例があってもいいと思う。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	<ul style="list-style-type: none"> ○各自研修を受けている ○虐待の形は様々なので、研修を増やして定期的に振り返ったりできるといい。 ○職員会議で周知になっている 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人では毎年1名研修参加している、事業所として形式的に研修として行ったが事案がほとんどないため重要視されていない。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ○準備段階であり、周知する方向である ○新年度確立すべく準備が進んでいるところだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○事例はないが、必要になった時は保護者や職員に連絡、文章を出すように進めていく必要がある。計画記載も含め。 ○身体拘束については、今後も検討を続け、職員間で統一した認識を持てるようアップデートしていく必要があるだろう。 ○やむを得ず身体拘束を行うことがなく、今までしっかりとした決め事が組織として無いと思うので、取り決めと周知徹底が必要。 ○重要事項説明書には掲載されているが、事前に利用児や保護者様にしっかりとした説明ができていないケースもあり、どのような取り決めでどのように説明していくのか、再度検討が必要。